

学校教育目標	○主体的な学びを創り出します<知>					
	○豊かな心と健やかな体を育みます<徳・体>					
	○よりよい社会を築く力を養います<公・開>					
学校概要	創立 43 周年	学校長 志村 誠一郎	副校長 山内 容子	2 学期制	一般学級: 11	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 385 人 主な関係校: 日吉台西中学校・下田小学校・駒林小学校					

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
コミュニケーション能力 課題解決能力 礼儀や規律を重んじる態度 協働して課題解決する力 持続可能な社会の創造に貢献する力 自己実現力	日吉台西中学校 下田小学校 駒林小学校	○自他の思いや子ども同士の関わり合いを大切に、よりよい社会を主体的に築こうとする子ども。 ○基礎的・基本的知識技能の確実な習得を図り、主体的に学習に取り組む子ども。 【日吉台西中ブロックテーマ】～基礎的・基本的な知識・技能の習得をめざした授業づくり～ ○文化祭前日小学校6年生を招いて合唱コンクールのリハーサルと文化祭のコース別活動を見学してもらいます。 ○2月に生徒会が小学校6年生を招いて中学校生活についてのガイダンスを実施します。また、土・日を利用して、部活動体験を行います。

中期取組目標	○学校教育目標を実現するために、積極的・創造的な教育活動を推進します。 ・基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を高める授業作りを推進し、主体的に課題解決に取り組む生徒の育成を図ります。 <知・体> ・他者との様々なふれ合いや体験的な学習を通して規範意識やコミュニケーション能力を育み、健やかで心豊かな生徒の育成を進めます。 <徳・体・公> ・地域とのかかわりを通して生き方に学び、自分の生き方を創り出そうとする体験的な学習の充実をすすめます。 <徳・公>
--------	--

重点取組分野	具体的な取組
生きてはたらく知	○個に応じた指導を展開し基礎学力の定着強化を図ります。○グループ学習や課題解決学習を通して思考力・判断力の向上を図ります。○行事などを通して自分をより豊かに表現する力を育てます。○自己評価等を行い自己認識から自己実現に向けていきます。○協習・協働を取り入れ課題解決する力を育てます。
担当 学習指導部	
豊かな心	○生徒の実態と発達段階を考慮しながら組織的に適切な道徳の時間の指導計画をたて、指導方法を工夫しながら実施します。○人権教育の充実のために職員研修の充実を図り、人権講演会や人権作文に全校で取り組みます。○「人権」の視点から持続可能な社会を作るための学習を進めます。
担当 共生指導部	
健やかな体	○保健体育科の教科目標達成に向けて、全単元を通して体力向上を図ることに重点をおき、その中で自己の課題解決力を身につけさせます。 ○体力・運動能力調査の結果分析等に基づき、「体育・健康プラン」の運営改善を図ります。
担当 健康指導部	
公共心と社会参画	○「横浜の時間」の理念を意識して、校外学習・キャリア教育・学校行事などに取り組みます。 ○課題学習への取組を通して、主体的に学ぶ力を身につけさせます。 ○地域の協力を得て、体験学習を通して学び、社会を築く力を培います。
担当 自治指導部	
環境教育	○定期的な安全点検の実施とともに、落ち着いた学習に取り組むことができるように、教育環境を整えます。 ○花植えや清掃活動、エコへの取り組みなどを進め、環境問題への関心を高め、実践力を育てます。
担当 健康指導部	
地域連携・学校運営協議会	○説明会や懇談会を活用し、学校と保護者・地域の方々との相互理解に努めます。○学校便りやHPを活用し、情報を積極的に発信します。○職員が進んで地域に出て行き、地域の思いや要望を把握し、積極的に取組を進めます。○地域とのつながり、連携を大切に活動を進めます。
担当 渉外部	
特別支援教育	○特別支援Cを柱とした組織的な取組で、個別の支援計画・指導計画をもとに、的確な支援をします。○研修を通して職員の特別支援教育に対する理解を深め、通級指導教室等関係機関や保護者との連携を図ります。
担当 特別支援委員会	
児童生徒指導	○互いの人権を尊重し、思いやりのある生徒の育成を図り、ぬくもりのある生徒指導の実践に努めます。○教職員間の情報の共有を大切にしながらチームとして組織的に取り組みます。○生徒会や委員会活動を通して、自己肯定感や課題解決能力を高めていきます。
担当 生徒指導部	
いじめへの対応	○定期的なアンケートを活用し、早期発見や早期対応に努めます。○年3回の定期的な教育相談や状況に応じた相談活動の充実を図ります。○スクールカウンセラーの効果的な活用を図ります。 ○生徒の自己肯定感や他者への思いやりを育む支援を行います。
担当	
人材育成・組織運営(働き方改革)	○それぞれのキャリアステージで目標設定を行い、目標の実現を目指して研修・実践を行います。○学年集団をOJTの場とし、主任・主幹の指導助言を基に、中堅職員が学校経営や若手の育成に取り組みます。○業務内容や進め方を見直し、仕事の合理化を図り、働き方改革を進めます。
担当 研究研修部(+管理職)	